

平成28年10月26日（水） 9:00 - 11:00

配布物

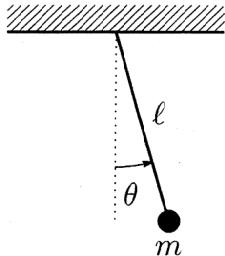
- ・問題用紙（この冊子）：2枚
- ・解答用紙（4枚）…問題番号ごとに1枚ずつ
- ・下書き用紙（4枚）

注意事項

1. 「解答はじめ」の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題番号【1】から【4】の全てに解答すること。
3. 解答は問題番号ごとに所定の解答用紙に記入すること。
4. 全ての解答用紙には受験番号と氏名を記入すること。
5. 解答用紙は裏面を使っても構いません。
6. 下書き用紙・解答用紙が足りなくなったら試験監督に申し出ること。
7. 解答には導出過程も記述すること。
8. 解答は白紙でも、全ての解答用紙を提出すること。

平成 29 年度 編入学試験問題

1. 質量 m の質点と長さ ℓ で質量を無視できる棒からなる振り子が鉛直面内で運動している(図参照)。次の各問いに答えなさい。ただし、空気抵抗や摩擦は無視できるものとする。



- (a) 質点の位置を図のように鉛直下向きからの角 θ で表すと、その運動は

$$\ddot{\theta} = -\omega^2 \sin \theta, \omega = \dots$$

に従う。これを導きなさい。 ω も求めること。

- (b) $\theta \ll 1$ で $\sin \theta = \sum_{n=0}^{\infty} a_n \theta^n$ のようにテーラー展開する。 a_n を求めなさい。
 (c) (a) の微分方程式を $\sin \theta \simeq \theta$ と近似し、その一般解を求めなさい。続いて、時刻 $t = 0$ で $\theta = a, \dot{\theta} = 0$ を満たす解を求めなさい。
 (d) (c) の場合、棒に働く張力の大きさを θ の関数として求めなさい。

2. 行列

$$A = \frac{1}{4} \begin{pmatrix} 0 & -1 & -3 \\ 2 & 3 & 3 \\ -2 & 1 & 1 \end{pmatrix}$$

について、次の各問いに答えなさい。

- (a) $e_1 = \frac{1}{\sqrt{3}} \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix}$ である。 Ae_1 を求めなさい。

- (b) 2つの単位ベクトル e_2, e_3 は、 $Ae_j = \lambda_j e_j, (j = 2, 3)$ を満たし、 e_1, e_2, e_3 は互いに平行でない。 λ_2, λ_3 を求めなさい。

- (c) ベクトル $x = \begin{pmatrix} 3 \\ -1 \\ -1 \end{pmatrix}$ を $x = \sum_{j=1}^3 a_j e_j$ と展開する。 a_j を求めなさい。更に $\lim_{n \rightarrow \infty} A^n x$ を a_j, e_j を用いて答えなさい。

3. 静電場 $E(x, y, z)$ がスカラーポテンシャル $\phi(x, y, z)$ で $\mathbf{E} = -\nabla \phi$ と表される。
 $\phi(x, y, z) = \frac{A}{\sqrt{x^2 + y^2}}$ について、 \mathbf{E} を求めなさい。また、電場 \mathbf{E} 中に微小電荷 q を置く。電荷に働く力を答えなさい。

4. 次の各問いに答えなさい。

(a) 自然数 m, n に対し

$$\int_0^{2\pi} \cos mx dx = \int_0^{2\pi} \sin mx dx = \int_0^{2\pi} \cos mx \sin nx dx = 0$$

および

$$\int_0^{2\pi} \cos mx \cos nx dx = \int_0^{2\pi} \sin mx \sin nx dx = \begin{cases} \pi, & (m = n) \\ 0, & (m \neq n) \end{cases}$$

を示しなさい。

(b) 周期 2π の周期関数 $f(x)$ が

$$f(x) = \frac{a_0}{2} + \sum_{n=1}^{\infty} (a_n \cos nx + b_n \sin nx)$$

と表されるとする。(a) で示した関係式を用いて、

$$\int_0^{2\pi} f(x) \cos nx dx \quad \text{および} \quad \int_0^{2\pi} f(x) \sin nx dx$$

を求めなさい。

(c) $f(x)$ をヘヴィサイド関数

$$f(x) = \begin{cases} 1, & (0 \leq x < \pi) \\ 0, & (\pi \leq x < 2\pi), \end{cases} \quad f(x \pm 2\pi) = f(x)$$

とし、前問の a_n, b_n を求めなさい。

解答

1. (a) 振り子の支点を原点とした極座標 (r, θ) を用いると、質点に働く力は

$$-mg \sin \theta \mathbf{e}_\theta + (mg \cos \theta - S) \mathbf{e}_r$$

となる ($\mathbf{e}_r, \mathbf{e}_\theta$ は r, θ 方向の単位ベクトルで, S は棒の張力)。

質点の加速度は

$$\ell \ddot{\theta} \mathbf{e}_\theta - \ell \dot{\theta}^2 \mathbf{e}_r$$

なので、運動方程式の θ 方向成分は

$$m\ell \ddot{\theta} = -mg \sin \theta$$

よって

$$\ddot{\theta} = -\omega^2 \sin \theta, \omega = \sqrt{g/\ell}$$

(b) $\theta = 0$ のまわりで Taylor 展開して

$$a_{2n} = 0, a_{2n+1} = \frac{d^{2n+1}}{d\theta^{2n+1}} f(\theta)|_{\theta=0} / (2n+1)! = \frac{(-1)^n}{(2n+1)!}, (n = 0, 1, 2, \dots)$$

(c) $\sin \theta \simeq \theta$ とすると

$$\ddot{\theta} = -\omega^2 \theta$$

よって、一般解は、 A, ϕ を未定定数として

$$\theta = A \cos(\omega t + \phi)$$

$\dot{\theta} = -A\omega \sin(\omega t + \phi)$ なので、与えられた条件より $A = a, \phi = 0$ となり、解は

$$\theta = a \cos \omega t$$

(d) 運動方程式の r 方向成分は、張力を S として

$$-m\ell \dot{\theta}^2 = mg \cos \theta - S$$

なので、解より $\dot{\theta}^2 = (-a\omega \sin \omega t)^2 = \frac{g}{\ell}(a^2 - \theta^2)$ なので

$$S = mg[\cos \theta + (a^2 - \theta^2)] \simeq mg[1 + a^2 - 3\theta^2/2]$$

【別解】解を使わずにエネルギー保存則を用いると

$$S = mg(3 \cos \theta - 2 \cos a) \simeq mg[1 + a^2 - 3\theta^2/2]$$

2. (a)

$$A\mathbf{e}_1 = \frac{1}{2\sqrt{3}} \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix} = \frac{1}{2}\mathbf{e}_1$$

(b) λ_j, \mathbf{e}_j は固有値, 固有ベクトルなので, 固有値方程式は

$$(-4\lambda)(3-4\lambda)(1-4\lambda)-3(-4\lambda)-6(3-4\lambda)+2(1-4\lambda) = 32(\lambda-1/2)(-2\lambda^2+\lambda+1) = 0$$

となり,

$$\lambda_2 = -1/2, \lambda_3 = 1$$

となる。

また, 各々の固有ベクトルは

$$\mathbf{e}_2 = \frac{1}{\sqrt{3}} \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix}, \mathbf{e}_3 = \frac{1}{\sqrt{3}} \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ -1 \end{pmatrix}$$

(c)

$$\mathbf{x} = \sum_j a_j \mathbf{e}_j = \sqrt{3}(\mathbf{e}_1 + \mathbf{e}_2 + \mathbf{e}_3)$$

となり, $a_1 = a_2 = a_3 = 1/\sqrt{3}$ となる。

したがって, $\lambda_1 = 1/2$ と書き, $A\mathbf{e}_j = \lambda_j \mathbf{e}_j$, ($j = 1, 2, 3$) に注意すると

$$\lim_{n \rightarrow \infty} A^n \mathbf{x} = \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_j \lambda_j^n a_j \mathbf{e}_j = a_3 \mathbf{e}_3$$

3.

$$\mathbf{E} = A/r^2 \cdot (x, y, 0)/r, r = \sqrt{x^2 + y^2}$$

で電荷 q に働く力は

$$\mathbf{F} = q\mathbf{E}$$

4. (a) $y = \sin mx, \cos mx$ は

$$\int_0^{2\pi} \sin mx dx = m \int_0^{2\pi/m} \sin mx dx = \int_0^{2\pi} \sin \theta d\theta = 0$$

同様に

$$\int_0^{2\pi} \cos mx dx = 0$$

次に

$$\int_0^{2\pi} \cos mx \sin nx dx = \int_0^{2\pi} \frac{\sin(m+n)x - \sin(m-n)x}{2} dx = 0$$

更に

$$\int_0^{2\pi} \cos mx \cos nx dx = \int_0^{2\pi} \frac{\cos(m+n)x + \cos(m-n)x}{2} dx = \begin{cases} \pi, & (m = n) \\ 0, & (m \neq n) \end{cases}$$

$$\int_0^{2\pi} \sin mx \sin nx dx = \int_0^{2\pi} \frac{\cos(m+n)x - \cos(m-n)x}{2} dx = \begin{cases} \pi, & (m = n) \\ 0, & (m \neq n) \end{cases}$$

(b)

$$\int_0^{2\pi} f(x) \cos nx dx = \int_0^{2\pi} [a_0/2 + \sum_{n=1}^{\infty} (a_n \cos nx + b_n \sin nx)] \cos nx dx = \pi a_n$$

$$\int_0^{2\pi} f(x) \sin nx dx = \int_0^{2\pi} [a_0/2 + \sum_{n=1}^{\infty} (a_n \cos nx + b_n \sin nx)] \sin nx dx = \pi b_n$$

(c)

$$a_n = \frac{1}{\pi} \int_0^{2\pi} f(x) \cos nx dx = \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{2\pi} \cos nx dx = \begin{cases} 1, & (n = 0) \\ 0, & (n \neq 0) \end{cases}$$

$$b_n = \frac{1}{\pi} \int_0^{2\pi} f(x) \sin nx dx = \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{2\pi} \sin nx dx = \begin{cases} 0, & (n = \text{even}) \\ -\frac{2}{n\pi}, & (n = \text{odd}) \end{cases}$$